



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しく下さい。

### ■梱包明細

※取付け前に必ず梱包内容をご確認ください。

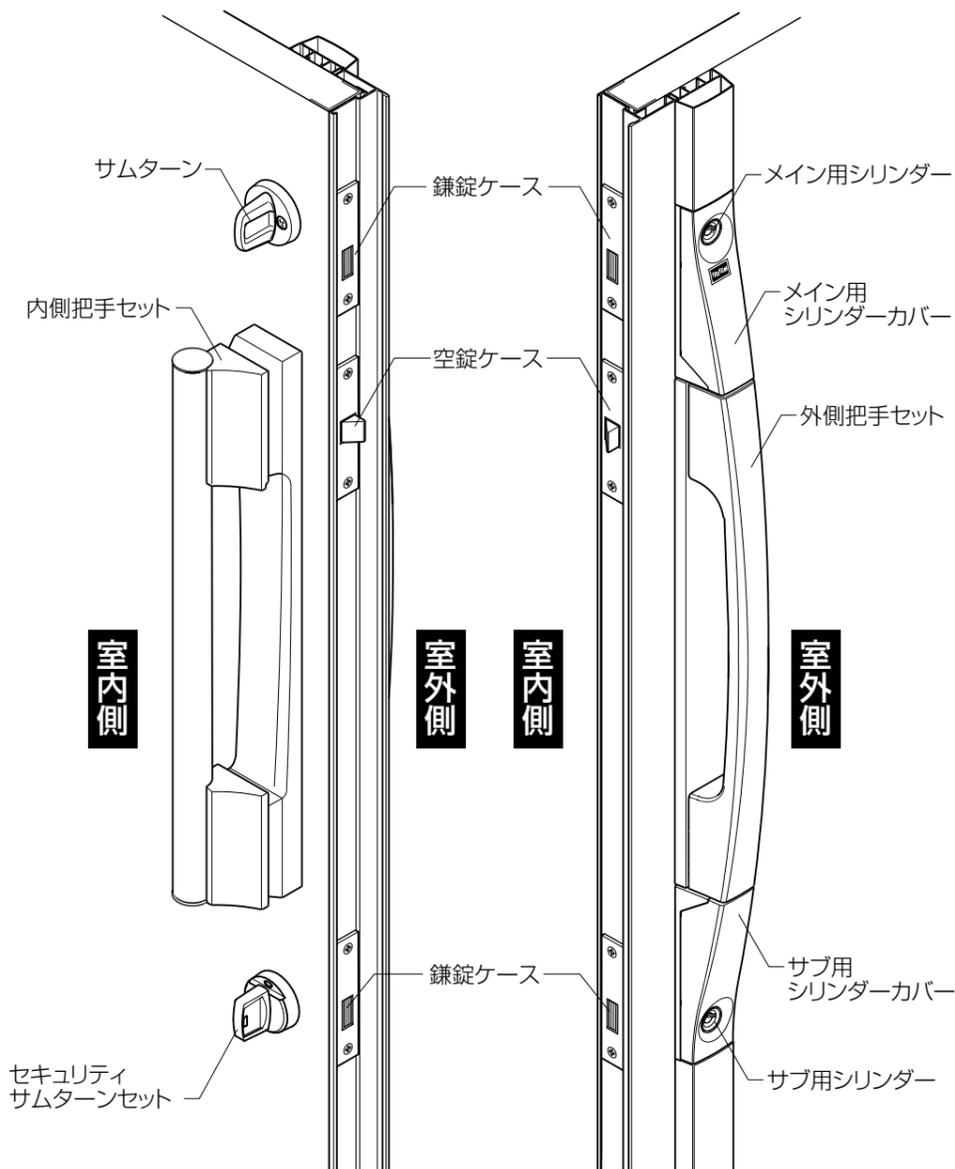
### ■把手セット

名称	入数	詳細
外側把手セット	1 個	—
内側把手セット	1 個	—
取付け板	2 個	—
錠ケースセット	1セット	鎌錠ケース / 2個、空錠ケース / 1個
		皿小ねじ M4×16 / 6本 (鋼板ドア用)
		皿タッピンねじ φ4×12 / 6本 (アルミドア用)
シリンダーセット (別途手配)	1セット	シリンダーユニット (メイン・サブ) / 各1個
		オーナーキー / 1本、子鍵 / 4本
		工事用キー (コンストラクションキー) / 3本
サムターン・セキュリティサムターンセット	1セット	サムターン / 1個、トラス小ねじ M5×45 / 2本 (頭部塗装付き)
		セキュリティサムターンユニット / 1個
		サムターンキー / 2本、サムターン座 / 1個
		トラス小ねじ M5×45 / 2本 (頭部塗装なし)
取付け説明書	1 枚	—
お施主さま用取扱い説明書	1 冊	袋入り

### ■取付け完成図

【バーハンドル / 室内側】

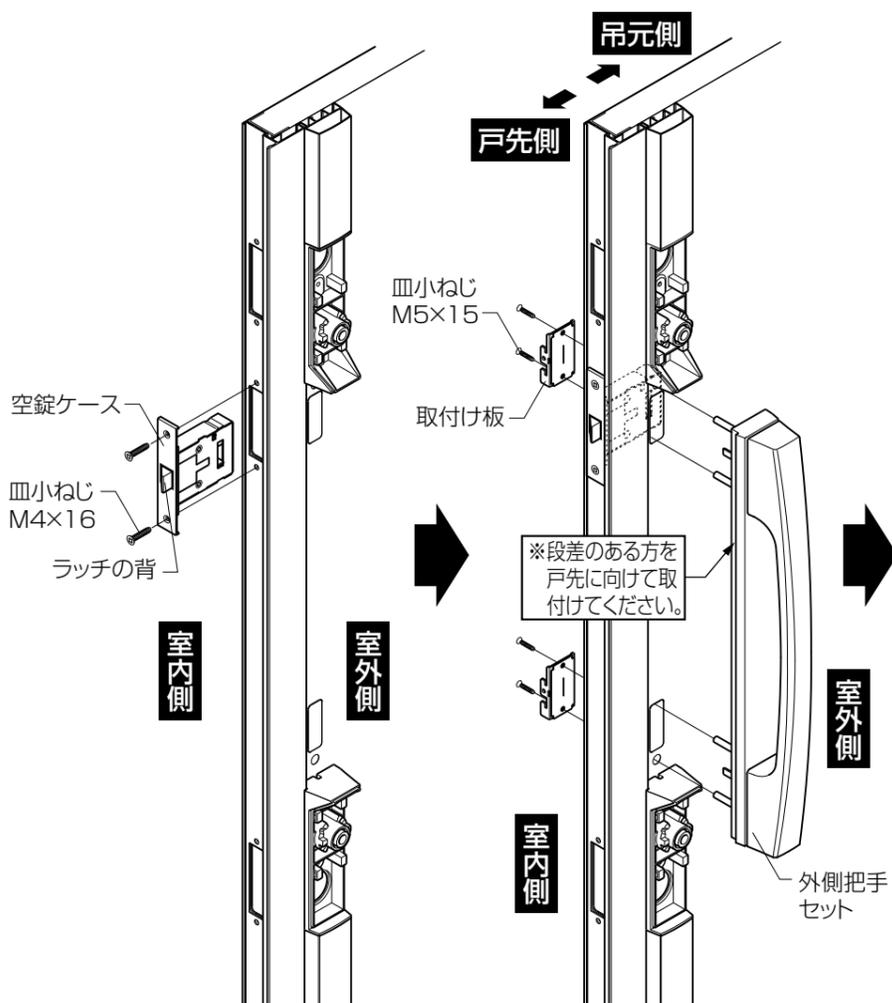
【ストリームハンドル / 室外側】



### ■取付け順序

#### 1 把手の取付け

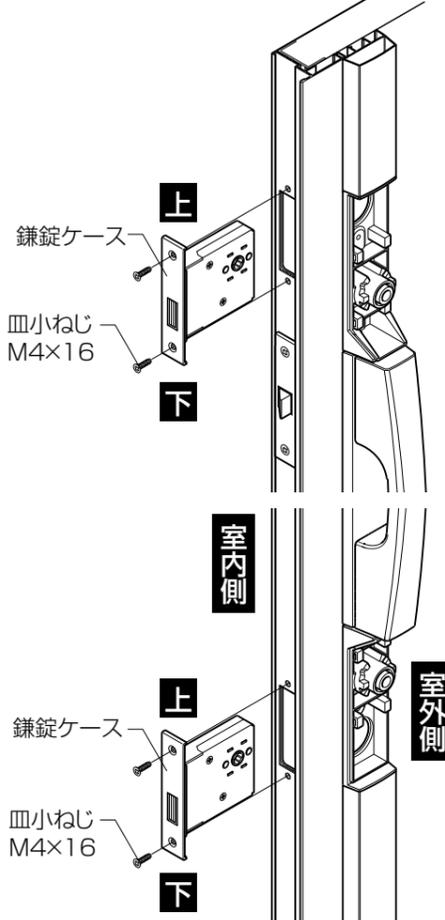
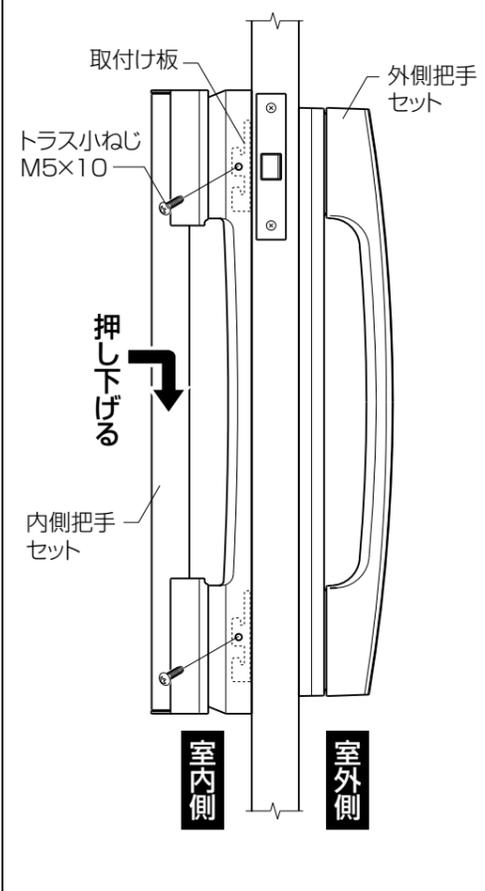
- ①ラッチの背を室外側に向け、皿小ねじで空錠ケースを取付けます。
- ②外側把手セットを室外側から差し込みます。
- ③取付け板を皿小ねじで固定します。
- ④内側把手セットを取付け板へ引掛け、止まるまで押し下げて、トラス小ねじを締付けます。



#### 2 鎌錠ケースの取付け

- 皿小ねじで、鎌錠ケースを取付けます。
- ※鎌錠ケースは、「TOSTEMプレート」を上にして取付けてください。

#### ■内側把手セットの取付け



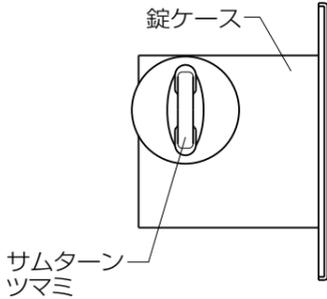
### 3 シリンダー、サムターン(上下2個)の取付け

- ① 上用シリンダー(封印シールなし)の上側シールを上に向けます。
  - ② 上用シリンダーの出張り(4カ所)を、鎌錠ケースの角穴に合わせて差込みます。
  - ③ サムターンをトラス小ねじで上用シリンダーに取付けます。
  - ④ 下用シリンダー(封印シールあり)の上側シールを上に向けます。
  - ⑤ 下用シリンダーの出張り(4カ所)を、下錠ケースの角穴に合わせて差込みます。
  - ⑥ セキュリティサムターンユニットを、皿小ねじでサブ用シリンダーに取付けます。
  - ⑦ セキュリティサムターンユニットをボタンを下にしてトラス小ねじで下用シリンダーに取付けます。
  - ⑧ サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンユニットのボタンの向きに合わせてはめ込みます。
  - ⑨ ボタンを上を押上げながら、サムターンキーを差込みます。(ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。)
- ※メイン用シリンダーカバーは、「TOSTEMプレート」を上にして取付けてください。  
 ※施開錠表示が、開錠時「赤」、施錠時「緑」になります。

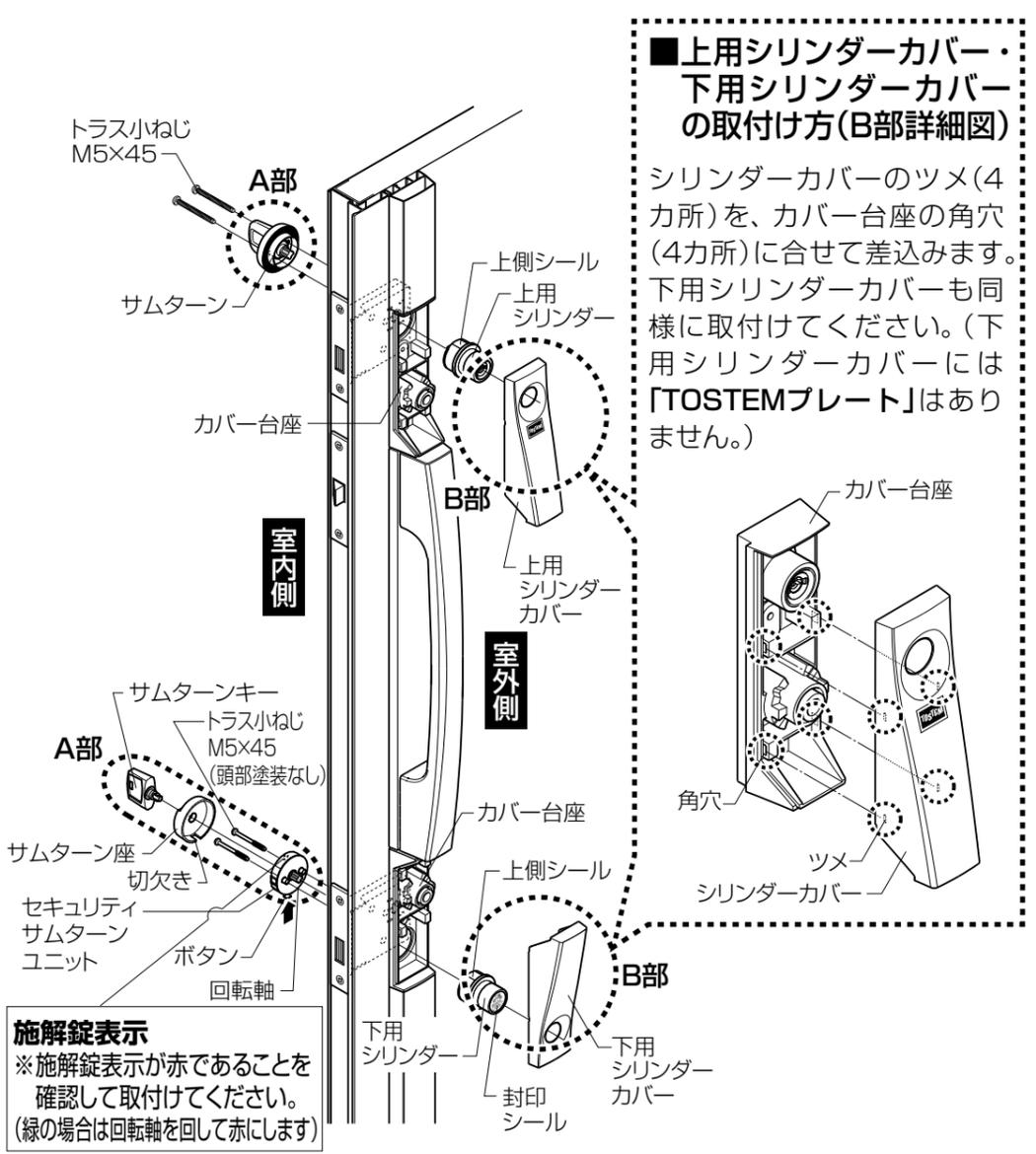
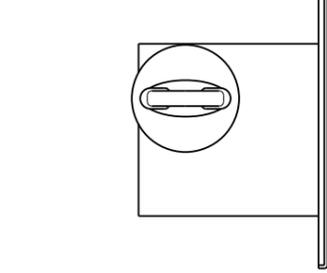
#### ■サムターンツマミの操作 (A部詳細図)

※サムターンツマミは縦にして取付けてください。

##### ●縦(解錠)



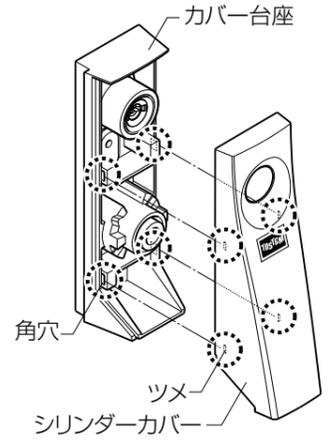
##### ●横(施錠)



**施解錠表示**  
 ※施解錠表示が赤であることを確認して取付けてください。(緑の場合は回転軸を回して赤にします)

#### ■上用シリンダーカバー・下用シリンダーカバーの取付け方(B部詳細図)

シリンダーカバーのツメ(4カ所)を、カバー台座の角穴(4カ所)に合わせて差込みます。下用シリンダーカバーも同様に取付けてください。(下用シリンダーカバーには「TOSTEMプレート」はありません。)

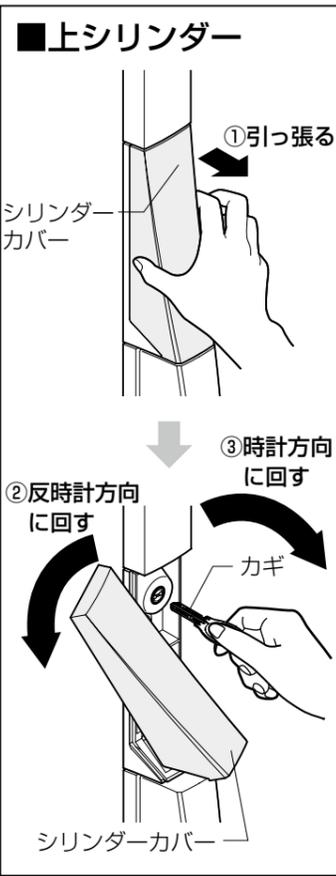
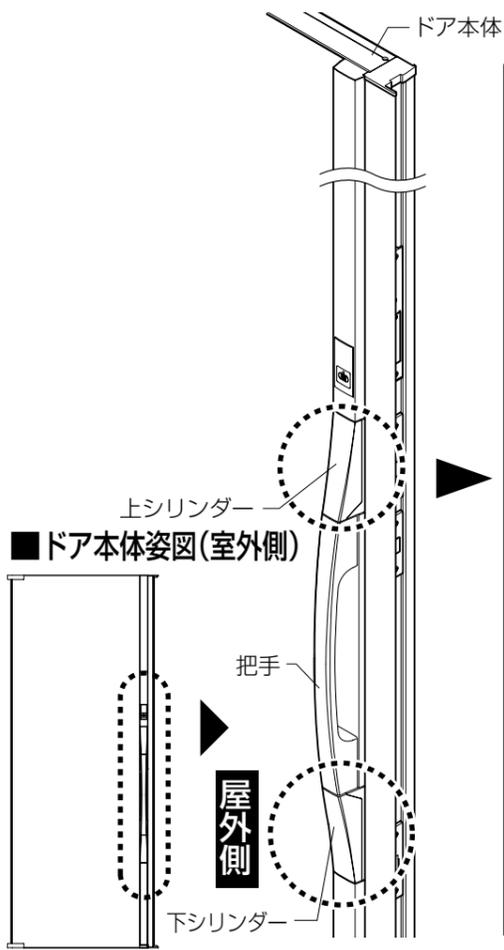


#### 【シリンダーカバー鍵穴なし仕様時のカバー開閉方法】

- シリンダーカバーを手前に引っ張って反時計方向に回転させると、シリンダー取付け穴があります。シリンダーを取付けた後は時計方向に回転させて閉じてください。

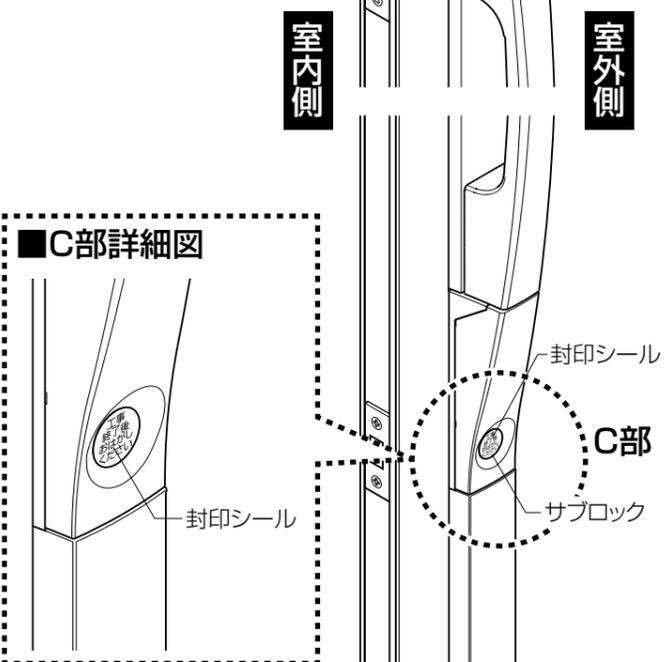
#### ■室外側からのカギ(●→)による施錠・解錠

- 室外側から上・下シリンダーにカギ(●→)を差込んで施錠・開錠を行います。
- シリンダーカバーを手前方向①に引っ張って反時計方向に回転②させ、シリンダーカバーを開けてカギ(●→)を差込んで施錠・解錠を行います。シリンダーカバーは時計方向③に回転させると元の位置に戻すことができます。



#### ■コンストラクション装置について

- メインロックには、コンストラクション装置が組み込まれています。取付けの際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。取付け後、お施主さま専用のキーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はコンストラクションキーでは開閉できなくなります。
- サブロックには、コンストラクション装置が組み込まれていないため、封印シールが張ってあります。取付け後、シールをはがした後、お施主さまにお引渡しくください。



※電動サムターンの取付け方法は、エントリーシステム仕様の取付け説明書を参照ください。